

2025 年9月1日

第 77 回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:隅野 俊亮、以下「当社」)が主催する第 77 回「保健文化賞」の受賞団体・個人(以下「受賞者」)が別紙のとおり決定いたしました。

当社は創業以来、生命保険事業を通じて社会課題の解決に貢献するとともに、国民の健康、保健衛生の向上に努めてきました。1935年、当時の国民病であった結核予防に取り組むため、「保生会」を設立しました。以来、保健衛生の向上に継続して取り組んできた中で、戦後間もない1950年には、衛生環境の悪化が深刻化する状況を受け、保健衛生の分野において顕著な業績を挙げ、長年にわたり尽力された方々に対し、「感謝」と「敬意」を表するために本賞を創設しました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、高齢者・障がい者福祉、国際保健など、その時代ごとのさまざまな課題に取り組んでこられた方々を顕彰してきました。

第77回となる本年度は、2025年2月3日から4月15日の期間に募集を行い、団体・個人合わせて33件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、団体10件、個人3名の受賞者が決定しました。これまでの受賞者総数(今回を含む)は、752団体、個人382名、合わせて1,134件にのぼります。

受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、当社からは感謝状とともに賞金(団体 200 万円、個人 100 万円)、朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団からは記念品が贈られます。

当社は、生命保険業を通じて「安心」と「健康」をお届けすることで、社会に貢献するとともに、本賞を通じて、今後も保健衛生の向上に寄与してまいります。

以 上

主催 第一生命保険株式会社

後援 厚生労働省

朝日新聞厚生文化事業団

NHK厚生文化事業団

第77回保健文化賞受賞者一覧

(敬称略)

(別紙)

受賞者名(団体・個人)	都道府県(※)	業績
一般社団法人青森県助産師会	青森県	小学生を対象とした「いのちの教育」を通して、自他の健康意識を育み、子どもたちの成長を支援するとともに、プレコンセプションケアの実践として健康管理の重要性を啓発し、次世代の健やかな成長の促進に貢献している。
公益財団法人 一迫記念READ血液アカデミー	宮城県	悪性リンパ腫の統合的な病理診断システムを確立し、宮城県を中心として症例登録と予後追跡からなる緻密な疫学調査の基盤を築き、悪性リンパ腫の診療レベル向上とともに血液内科医・病理医の人材育成に貢献している。
社会福祉法人山形のいのちの電話	山形県	30余年にわたり、年中無休の電話相談等を通して悩みや苦しみを抱える方々に寄り添い、安心して相談できる環境を提供し、山形県における孤立や不安を和らげる社会づくり及び自殺予防の推進に貢献している。
特定非営利活動法人チームふくしま	福島県	無人福祉型子ども食堂の運営や「お互いさまチケット」の取組を通して、子育て貧困世帯の生活・自立や障害者の就労・社会参加などを支援し、子どもたちの心身の健康づくりや地域共生社会の実現に貢献している。
特定非営利活動法人パンキャンジャパン	千葉県	予後が不良な膵臓がんについて、早期診断の啓発や積極的な患者会活動を行うとともに、膵臓がんの診療研究を行う医療者への支援として臨床試験マッチングやレジストリ事業などの取組を行い、治療成績の改善に貢献している。
一般社団法人 松戸市医師会健康啓発委員会	千葉県	医師が自院での診療にとどまらず地域課題・教育課題に積極的に取り組む事業である「まちっこプロジェクト」を実施し、小中学校への出張授業などによる子どもへの健康教育を通して、地域社会全体の健康意識の向上に貢献している。
認定特定非営利活動法人 キープ・スマイリング	東京都	入院する小児の付添家族に対して食品や生活必需品などの物資を届ける支援を展開するとともに、付添入院について、実態調査を通して診療報酬などの制度改革の議論に寄与し、環境の改善及び支援体制の構築に貢献している。
公益財団法人ジョイセフ	東京都	「人づくり」による意識や行動への働きかけを通して、世界の女性の命と健康を持続的に守る環境づくりに取り組み、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルズ/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の推進に貢献している。
一般社団法人石川県助産師会	石川県	2012年の発足以来、医療・福祉等関係機関や行政と連携して多岐にわたる母子訪問ケア事業を行うとともに、能登半島地震後には、被災妊産婦に特化した支援を行うなど、社会的支援を通して石川県の母子保健向上に貢献している。
エンジェルの会	和歌山県	アンジェルマン症候群の患者及びその家族が情報交換を通して助け合える場を提供するとともに、疾患の啓発、国際団体との連携及び治療薬の実現に向けた開発協力を行い、患者が安心して暮らせる環境づくりに貢献している。
池田 正一	東京都	障害児に対する歯科医療の学術的確立及び地域における障害者歯科連携システムの構築のほか、血友病患者、HIV感染者及び無痛無汗症など難病患者に対する歯科・口腔衛生の実践を通して、差別のない歯科診療の向上に貢献している。
木村 晋也	佐賀県	多くの臨床研究や創薬基礎研究を通して慢性骨髄性白血病の治療法を大きく改善するとともに、低価格な治療薬導入への貢献や積極的な啓蒙活動を行い、患者にとって身体的・経済的負担の少ない診療の実現に貢献している。
木添 茂子	宮崎県	長年にわたり保健師として携わってきた結核患者への対応などの経験を基に、退職後も保健所の新型コロナウイルス感染症の患者及び接触者への対応に関わり、現場の疲弊を防ぐための地道な支援活動を継続するとともに、保健師等の人材育成に貢献している。

※受賞時点の団体所在地・個人居住地